

外国語活動学習指導案

枚方市立樟葉西小学校

指導者 門前 詩織

J T E 行岡 七重

1. 日 時 平成25年11月1日（金） 第6時限(14:20~15:05)

2. 場 所 英語教室

3. 学 年 第5学年4組 （男子17人 女子13人 :計30名）

4. 単元名 「クイズ大会をしよう」
(Hi, friends! 1 Lesson 7 What's this?)

5. 単元目標

- ・ 友だちとコミュニケーションをし、みんなで協力してクイズ大会を成功させる。
- ・ “What's this?” 色や形などの既習の表現を用いて、友だちに尋ねたり、答えようとしたりしている。
- ・ 漢字が表意文字であること、アルファベットが表音文字であることに気付く。

6. 児童観

本学級の児童の多くは、活発で何事にも一生懸命に取り組む姿勢がある。よく発言をし、外国語の授業では、発音の練習をしっかりと行う。しかし、なかなか人前で考えを言うのが恥ずかしいという児童もいる。そのため、日ごろの学習活動から、席の近い児童との話し合いの時間をとり、新聞発表では、人前で発言する機会を作るようにしてきた。机間指導の中で、一人ひとりが自信を持てるよう個別に声を掛けることを心がけてきた。

外国語活動では、歌やゲームなどを通して楽しんで参加している児童が多い。そしてその日に学んだことを外国語の授業以外でも使ってみる児童もいる。今回の単元で、友だちと試行錯誤してクイズ大会を成功させた体験から、言葉のもつ意味を深く考えられる児童になってほしいと考えている。

7. 教材観

本単元では、“What’s this?”を自然な形で使用する場面として、クイズを出し合う活動を取り入れている。使用する単語は、児童にとって身近なものが多いが、4時間目にはクイズ大会を行うので、Hi, friends! 1 に載っていない単語も、児童の負担にならない程度に、紹介する。外来語を漢字にして、それをクイズにし、どうやって相手に伝えるかを考える。

8. 指導観

今回の学習で、英語を聞いて想像する力を身に付けさせたいと考えている。クイズの答えがわからなくても、今までに習った言葉を使って、相手に質問することにより、少しずつでもその答えの想像がつくようにしたい。これは、外国語を話す機会があるときに、自分の知っていることを話すことと、相手の言語を聞き、表情やジェスチャー等の非言語から想像することに繋がると考えている。非言語もコミュニケーションをとるにあたって大切な要素であり、非言語によるコミュニケーションは、児童も普段から無意識に行っていることではあるが、外国語活動の授業を通じて、より非言語の大切さを理解できるようになると考えている。そのために、デモンストレーションでは、ジェスチャーを加え、表情豊かに表現することを心がけている。

また、本学級では相手に伝えるために大切なことについて、調べ学習をしている。児童は、言葉の使い方や発表の仕方などを個人で考えたり、友だちと考えたりしながら学んできた。今回のクイズ大会を通して、外国語で伝えあう難しさも知ってほしいと考えている。伝えにくいことをどのような点に気をつけて伝えるかについても、子ども達に考えてほしい。そして、伝えあえた時の喜びから、学級の友だちや外国語に興味をもち、コミュニケーションを図ろうとする姿勢をさらに育てていきたいと考えている。

9. 単元の評価規準

コミュニケーションへの 関心・意欲・態度(関)	外国語表現への 慣れ親しみ(慣)	言語や文化に関する 気付き(気)
・自分たちで作成したクイズを出し合いながら、友だちと積極的にコミュニケーションを図っている。 ・友だちと協力して学習活動に取り組んでいる。	・“What’s this?” 色や形などの既習の表現を使いながら、友だちに尋ねたり、答えたりしている。	・漢字が表意文字であること、またそれは有効なコミュニケーションの手段になるということに気付いている。

※本単元での言語材料

What’s this? / Yes, that’s right! / No, I’m sorry. / Here’s our question.

Are you ready? / I got it. / Answer, please.

What color is it? / What shape is it? / What kind is it?

Gesture for size, please. / Gesture for taste, please.

More hints, please. / Sound hint, please.

10. 指導計画 全4時間 (本時)4/4

	ねらい	主な学習活動 (●は評価する学習活動)	評価規準			評価方法
			関	慣	気	
1	本単元の見通しを持たせる。 ヒントの出し方について知る。	○挨拶 ●五感に気付かせるためのクイズ ●クイズのヒントの出し方			●	[行動観察] ● HRT と JTE のやり取りから、今まで無意識に行っていたことへの気付きを得ている様子を観察。
2	表音文字と(特に)表意文字について知り、漢字は意味を表すということに気付く。	○挨拶 ●参加型の絵本読み聞かせ “What’s this?” ●外来語を使って表音文字と表意文字についての気付きを引き出す活動			●	[行動観察] ● 絵本やHRTとJTEのやり取りの英語を聞いて、内容を想像している様子を観察。
3	クラスでのクイズ大会へ向けて、伝え方の工夫などについて話し合う。	○挨拶 ○クイズのやり方を、HRT と JTE のデモンストレーションより考え、話し合う。 ●クイズ大会で使う表現の練習 ○班毎、作戦会議と実施に向けた練習。			●	[行動観察] ● 英語表現を積極的に使ってやり取りをしている様子を観察。
4 (本時)	クイズ大会をし、互いに尋ねたり答えたりする。	○挨拶 ●班で考えたクイズを全員に出す。 ●ヒントを出す。 ●質問をする。 ●振り返り	●			[行動観察] ● 協力して積極的にクイズ大会を行っている様子を観察。 [振り返りシート] ● クイズ大会を通して自己肯定感を高められたかどうか、児童の自己評価。

1 1. 本時の目標

友だちとコミュニケーションをし、みんなで協力してクイズ大会を成功させる。

1 2. 準備物

- ・問題(6班分)
- ・答えを書くボード、マーカー
- ・振り返りシート

1 3. 本時の展開

	学習活動	教師の活動		指導上の留意点	評価規準
		HRT	JTE		
挨拶	1. あいさつをする。 Stand up please. Let's start our English class. Okay!	Okay!	Okay! Hello, everyone.	元気よく挨拶をさせ、意欲的に取り組める雰囲気を作る。	しっかりと声を出して挨拶ができる。
導入	2. 目標の確認。 「みんなで協力してクイズ大会を成功させる。」				
	3. ルールを確認する。				
展開	4. クイズ大会をする。 班で問題を一つ出す。 質問をする。 ヒントを出す。 相談する。 Answer, please, 123! That's right! No, sorry.	Let's begin our quiz show! Please come to the front, Group 1! Are you ready? 1-minute thinking time! Time's up! Thank you Group 1!	Okay!	言葉と共に、ジェスチャーや表情にも工夫するよう声掛けをする。	関：積極的に相手に質問したり、ヒントを出したりする。

まとめ	5. ふりかえりシートを記入する。			
	6. あいさつをする。 Stand up please. Thank you for the lesson. Good bye, Nana-sensei. See you next time.	Thank you for the lesson. Good bye, Nana-sensei. See you next time.	That's all for today. Thank you for the lesson. Good bye, everyone! See you next time.	

※問題は、外来語を漢字で表記しています。